第34回河童サミット in URAYASU　役員一同

水は命・河童は心

かっぱ新聞

河童連邦共和国
事務局
〒111-0035
東京都台東区西浅草3-3-4
電話・FAX：03-3844-0641
新聞編集部
〒373-0057
群馬県太田市本町39-7
FAX専用：0276-22-6514

就任の御挨拶

河童連邦共和国
大統領　縄田　圭一

今般、令和5年4月7日に運営委員会にてご推挙を頂き、この度、大統領の重責を頂きました事に関し高い処から謹んで一言ご挨拶を申し上げます。元より学業を終えてから直ぐ道内の宿泊業に従事し半世紀以上に渡り仕事を終えた八十四歳の康令者です。思い返しますに二分の一は本業、半分は河童生活に没入。一向にまだまだ出来上がってない未熟者が到底、斯かる要職をお引き受ける身では御座いません。

思い掛けなく任に付いた以上は国民皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

この上は、その器で有る無しに拘わらず、国民各位のご期待に沿う様に、国政前進を軸に自分なりの粉骨砕身、努力を致します。

どうぞ宜しくご鞭撻の程をお願い申し上げます。それにつきましても何事も国民お一人様、お一人様の協力無くしては成し得ません。ご協力を切にお願いを致します。

尚、終りに致しますが、初代平成元年土屋ひとし様、二代平成十五年岡見とよはる様、三代平成十七年斉藤哲清様、四代平成二十七年宇田川敬之助様、五代平成二十九年中村としひろ様、歴代、経年のご苦労に対し惜しみない賛辞と感謝を捧げ私の就任挨拶に替えさせて頂きます。

退任のご挨拶

名誉大統領　中村　壽宏

去る6月10日、第34回河童連邦共和国定期総会にて役員改選により大統領を退任しました。平成29年6月就任以来、令和5年6月までの任期中に役員方々をはじめ国民各位の厚いご支援ご協力をいただき無事務めることが出来ましたことを深く感謝申し上げます。連邦の一県一村を目標に国民増強計画ですが達成は微力以下の通りの活動です。

平成29年6月24日
　第30回河童サミット魚沼にて大統領就任
平成30年6月10日
　平成30年度総会　千葉県市川市において開催
平成30年8月27日
　台湾高雄かっぱ村　開村式
平成30年9月8日
　新潟県佐渡市佐渡福浦かっぱ村　開村式
平成30年10月20、21日
　第31回河童サミット台北
令和元年5月19日
　岡山県岡山かっぱ国　開村式
令和元年6月10、11日
　第32回河童サミット佐渡福浦
令和2年　　新型コロナウィルスにより中止
令和2年8月8日
　NHKBS　主題は「ホラー」「たけしの芸能史」の中で
　かっぱ連邦共和国の紹介
令和3年　　新型コロナウィルスにより中止
令和4年10月16、17日
　第33回河童サミット岡山
令和5年6月10、11日
　第34回河童サミット浦安

平成2年から3年、コロナ禍で大変な危機を経験、かっぱ国民はつよいかっぱ心で耐え第33回、第34回河童サミットは以前の元気なかっぱに戻り「水は命かっぱは心」ロマンとユーモアの証明でした。

河童連邦共和国国民となり河童サミットの初参加は平成4年第5回渡良瀬で群馬県赤城山麓黒保根村河童伝説のあるところ地域色豊かに演出、「これがかっぱサミット」と強く引き込まれ記憶にあります。以来33回まで各地で開催された「河童サミット」は連続して参加、ロマンとユーモアをもって各地のかっぱは地域特色を発揮して引きこみ遊び心で総てを忘れさせるかっぱの世界を演出します。

河童を愛しロマンとユーモアを好み「水は命かっぱは心」のキャッチフレーズで地域社会への働きかけが河童活動の一助となり共感を誘い新たなかっぱ村の誕生や町興しを願う活動につながれば幸いです。

河童サミットは「かっぱの華」一年に一度全国の河童仲間が一堂に会する感動場であり新たな交流も生まれる友好の広場でもあります。これからも一人でないかっぱと共に「水は命かっぱは心」ロマンとユーモアを求め続けます。

後任新大統領には縄田圭一氏が就任されました。新役員一至協調され河童国民と共に明るく楽しい河童連邦共和国の益々の発展を祈念いたします。

今日までの楽しいかっぱへの想いをあのフレーズで「かっぱに思い出が寄り添い想い出にかっぱは語りかける」そして河童の瞑想は静かに流れていきます。思い出をありがとうございました。

第三四回河童サミット開催

事務局長　森本　佳直

令和五年六月十日（土）【第三四回河童サミット in URAYASU】は、北は北海道、南は台湾からと、一一七名の参加者のもと、浦安の地で行われました。午後一時から浦安市内を散策するショート観光（自由参加）で始まり、八時までの閉会まで、内容豊富な催しで、友好を深め、意義ある時間を共に過ごすことが出来ました。

初めに宇田川敬之助村長の歓迎の言葉が述べられました。次いで、「ふるさと浦安かっぱ村二十周年記念コンサート」では、ハーモニカとハープの華麗な演奏が行われました。それから定期総会に移り、事業報告等のあと、役員改選を行い、新大統領に縄田圭一さん（札幌かっぱ村村長）を選出、承認されました。続いて「東京湾のウオーターフロント計画今・昔」というテーマで宇田川武さん（東京湾ボートガイド・利根川かっぱ村）に講演していただきました。

乾杯（古田伸行相談役）のあと全国河童交流会が賑やかに始まりました。

その際、駒ヶ根かっぱ村より来年のサミットを「我が村で開催したい」という発言がありました。続いて、時間の関係上、十分なお話が出来ない面がありましたが、恒例の各村の紹介コーナーに移りました。

日本舞踊・「ふるさと浦安かっぱ村活動報告二十年のあゆみ」の上映もされました。

最後は全員で東京音頭を踊って閉会しました。中村壽宏前大統領が急病の為欠席されたことは残念なことでしたが、盛会のうちに開催できましたことを報告させて戴きます。全国の皆さんありがとうございました。

「ニリンソウ」と「東京大仏」

板橋かっぱ村　片平　賢一

私が住んでいる高島平団地は一九七四年に建設されたのですが、団地の整備に伴ってその南側に大きな公園も作られました。それが都立赤塚公園です。それ以前は徳丸が原と呼ばれた水田地帯でした。首都高速五号線を挟んで北側は団地と赤塚公園の中央地区があり、南側は東西約二・五キロメートルにわたって武蔵野台地の崖線が連なっています（荒川に面した北向き崖線）台地の上は東から辻山・徳丸が丘緑地・番場・沖山・大門・赤塚城址の六地区が赤塚公園として指定されているのですが、ここの崖線部分は手を加えない自然のままを残しています。植物だけでなく昆虫や動物を含めた多様な生き物が棲んでいる、東京都区内でも特筆されるべき場所となっております。

この都立赤塚公園には、その自然を守る活動している幾つかのボランティア団体があり、私も三年前からその団体のひとつ「赤塚公園のニリンソウを守る会」の一会員として、毎月第一・第二・第三・月曜日に、主として大門地区と城址地区の野草を中心とした樹木等の、生態調査活動をしております。板橋区の区の花として知られているニリンソウの自生地もここにあり、秋から初冬にかけてはこのニリンソウの保護活動（主に草刈りなどの手入れ活動）も行われており、それにも参加してきました。

前置きが長くなりましたが、今年の一月河童有志の集まりに呼ばれました。和やかな会話の中で、私は「赤塚公園ニリンソウを守る会」のボランティア活動をしている話をしました。三月中頃を過ぎると色々な植物も芽吹き始め、ニリンソウも一斉に葉を伸ばして、下旬頃には白い花が谷間を波打つ様な景観を見せてくれる所だと説明したところ、みなさんとても関心を持ってくれました。

今回の催しは地元「板橋かっぱ村」のほかに、過去に様々な催しで実績をお持ちの「おいてけ堀かっぱ村」の山本村長にも、呼びかけ人をお願いして、二月のかっぱ寺での新年会に、共同主催として案内チラシを配りました。予定どおりの二十名になり、板橋かっぱ村の首藤村長と安堵した次第です。

なお当日は、我々ボランティアの仲間三人が応援に駆けつけて、皆様方のお手伝いをしてくれました。集合場所の新高島平駅からニリンソウ自生地まで、約一キロメートル近くありましたが自生地に着くと、見頃をむかえて白い花が咲き広がる景観に皆さん大喜びして頂きました。ここのニリンソウも東の地域に伸び遊歩道の反対側にも増殖してきており、数年後には左右にニリンソウが見られる景色になるのではと、ボランティア仲間と期待しております。是非とも毎年見に来ていただきたいと思います。

ニリンソウ見学の後「東京大仏」まで、登ったり下ったりの道を、浄土宗別格本山「乗蓮寺」の大仏（通称東京大仏）を見学。皆さんそれぞれ境内を散策したあと、昼食場所の手打ち蕎麦処「ひびき庵」へ。「そば御膳」でお腹を満たして頂きました。昼食後、先程見学した乗蓮寺すぐそばの板橋区立植物園へ行き普段見られない草木や花を楽しみ、皆さん園内のかなりのアップダウンにもかかわらず、苦もなく上り下りしながらの見学でした。

その後バスで高島平駅へ行き、二次会会場「ゆずり葉」での二次会。十一名の参加で大盛りあがりで、午後四時すぎに散会となりました。このころには、雨も上がって陽も差してきて、「終わり良ければ総て良し」と自画自賛で今回の催しを締めくくりました。ご参加の皆様にはご協力いただき、本当にありがとうございました。またお疲れ様でした。

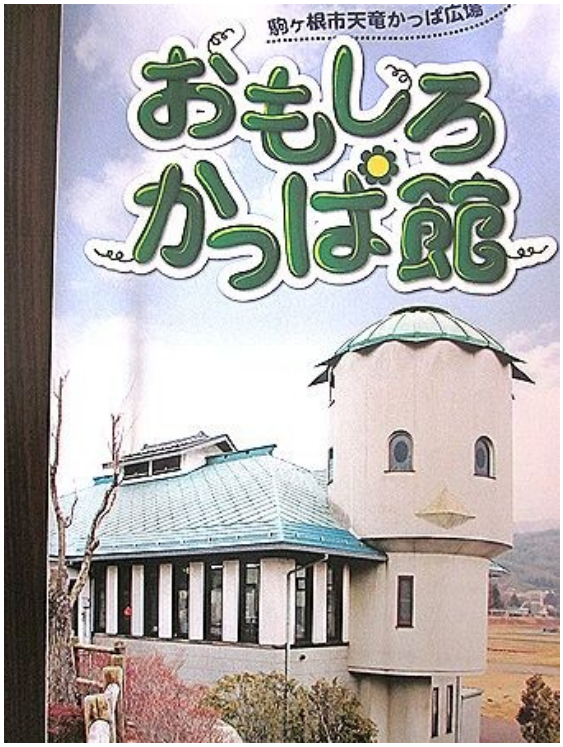
「こまかっぱ」のまち駒ヶ根市へ

駒ヶ根天竜かっぱ村
村長　坂井　呂平

第34回河童サミットイン浦安に、駒ケ根天竜かっぱ村より3名出席させていただきました。オリエンタルホテル東京ベイを会場として、浦安かっぱ村の皆様の温かい「おもてなし」に大変楽しいひと時を過ごさせていただきました。浦安かっぱ村の20年間にわたる地域貢献、村民交流の活動に敬意を払うと共に、30年に向けての益々のご発展をお祈り申し上げます。総会の折に、来年の第35回河童サミットの開催に立候補させていただきました。

長野県駒ヶ根市は、東に南アルプス、西に中央アルプスと二つのアルプスが映え、中央に諏訪湖を源とする天竜川の清流が流れる風光明媚の地です。中央アルプスから流れ出る天竜川の支流、太田切川が天竜川と合流する東側、大久保の地点に、下り松と呼ばれる淵があり、古来から蛟竜と河童が棲んでいて、妖怪が出ると言われ恐れられていました。

高遠藩の川奉行を勤め大久保に屋敷を構える中村新六殿は、淵の底部にトンネルを掘り、川の水を引き、新六五町歩の開田を行い、高遠郡宰坂本天山からその功績を讃えられて墾田の碑が建てられました。



中村家には、この淵に棲む河童から秘伝の妙薬の製法を伝授された伝説があります。中村家では河童から伝授の薬「痛風の妙薬・加減湯」として昭和の初期まで全国販売し、たいへん繁盛したといわれています。

駒ヶ根市では、平成五年（一九九三）に建設した「おもしろかっぱ館」に、河童伝説を末永く伝えるため、当時の薬製造の部屋を再現し、中村家から寄贈された薬の製造法や販売の資料を数多く展示した資料室を設けています。

また、地元有志でまちおこしの一環として、河童の棲んでいた天竜川の畔に農地を洪水禍から護り、人々を水難事故から護る、河童を祀る「かっぱ神社」が平成十四年（二〇〇二）に建てられ、その傍らに諸人の痛みや悩みごとを癒してくれる「大願成就河童」が鎮座しています。

今年は「おもしろかっぱ館」建設から30周年の節目の年でもあり、昨年12月に急逝された小島利昭前村長のご功績を偲ぶ会として、令和6年6月9日（日）の全国河童サミットを是非とも長野県駒ケ根市で開催したく立候補させて頂きました。

さわやか信州、二つのアルプスが映える「こまかっぱ」のまち駒ヶ根市へ、全国からの皆様のお越しを心よりお待ちしております。

西光寺の絵童絵

利根川かっぱ村　戸塚　信子

久しぶりの浦安サミットに参加しました。

新しい縄田大統領の選出、盛りだくさんの楽しい催し物、懐かしい皆様のお顔を見てのお話、とても楽しく浦安河童の皆様に感謝申しあげます。来年のサミットは長野の駒ヶ根でのお話が決まったようです。駒ヶ根天竜河童村の小島村長には大変お世話になりました。残念ながら小島村長は令和四年十二月に亡くなりましたがきっと空の上で駒ヶ根サミット開催を喜んでいることでしょう。

春はしだれ桜とヒカリ苔の美しい光前寺、上皇御夫妻が光前寺に足を運んだ時、お庭がとても美しく、市の職員が熱心に説明をしたそうです。熱心のあまり、上皇御夫妻の前に身を乗り出し何回も宮内庁の職員に後ろに下がって下さいと注意されたそうです。

キャベツの上にカツがのったカツ丼、暑い夏、涼しい天竜川の川風の元での河童花火大会、風に流され河童の花火が横を向いたりと楽しい思い出です。養命酒工場の見学、河童の妙薬を製造、販売していた中村家の見学、大きなリンゴ、味の濃い葡萄、自宅裏山の松茸、はちみつ、長野の美味しい物も小島村長に教わりました。

二〇一四年、焼津サミットの翌日、小島村長、名和さん、横ちゃん、私と浜松から、車で静岡湖西市の西光寺に向かいました。かねてから河童の襖絵を見たかったのですが、連絡した時は、お寺の建て替え中で見ることができず、ようやく鑑賞することができます、地図を頼りに進んでもわからず、散歩中の中学生にお寺まで案内していただきました。人通りの少ない静かな村の中のお寺ですお寺の座敷に案内していただくと見事な四枚の襖絵がありました。無数の河童が描かれた襖です。全体に河童の青色が目立ち、二枚目の襖には阿弥陀如来が光を放って立ち周りに無数の河童が仏様の周りを取り囲んでひれ伏しています。

河童は何を祈っているのでしょうか。

赤ちゃん河童は女河童の膝にのり、子ども河童は遊んでいます。女河童はお喋りに夢中です。男河童は無心に阿弥陀如来を拝み足元にひれ伏しています。大きく光り輝く阿弥陀如来は優しく河童達を見守っています。

阿弥陀様　この物価高で胡瓜が買えません

阿弥陀様　会社が倒産して仕事がありません

阿弥陀様　この暑さで水が美味しくありません

阿弥陀様　この暑さで頭のお皿が乾いて痛いのです
阿弥陀様　お給料が減ってお腹がすいています
阿弥陀様　少子化で子河童が産めません
阿弥陀様　どうかお助け下さい
「だいじょうぶ、心やすらかに生きなさい」
利根川の河童にはこのように聞こえました。
帰り、小島村長の友達も合流し、美味しい鰻をいただき、千葉に帰りました。
充実した一日でした。

西光寺　静岡県湖西市白須賀三〇九〇

連載コラム　河童よもやまばなし
十四回　河童VSスーパーヒーロー

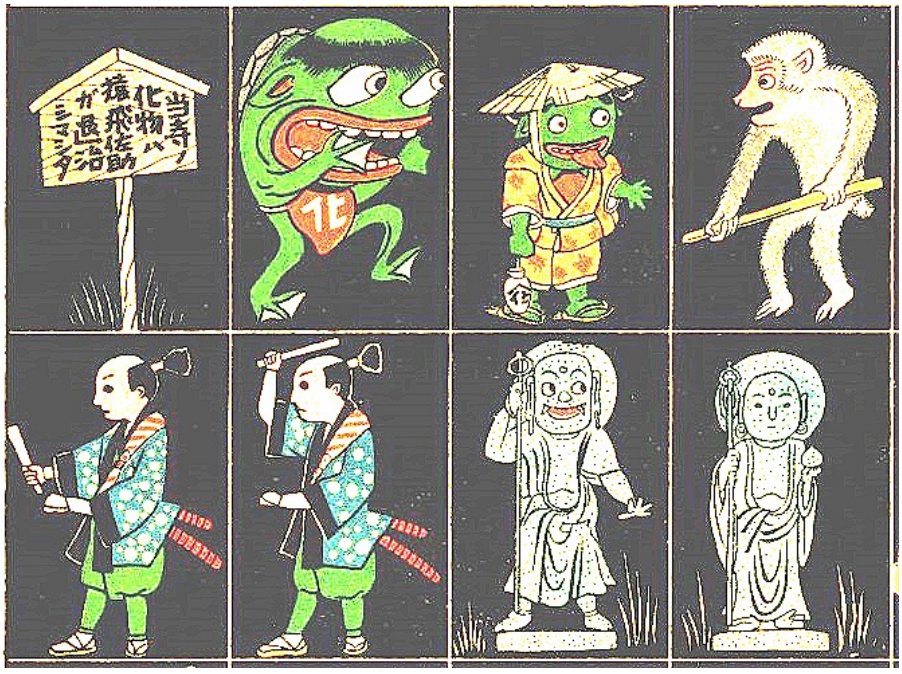
國學院大學文學部教授　飯倉　義之

画像の上段中央、酒買い小僧のいで立ちの河童と、目を剥いて大きな口を開けて威嚇する河童。珍しく攻撃的な河童です。周りには立札や猿、若侍や化け地蔵など、とりとめのない図像。実はこれ「おもちゃ絵」といわれる一枚刷りの印刷物の一部分です。

おもちゃ絵はコマごとに切り取って子どもが遊んだ刷り物で、その性質上、出版元や出版年、絵師などはよくわかっていません。このおもちゃ絵は、串の先に絵を裏表に貼り合わせ、くるくる回して表情が変わる紙人形芝居（ペープサート）を演じて遊べます。台詞と共に回転させれば、地蔵が化けて立ち上がり、若侍が鉄扇を振り下ろすのです。

画像の上段中央、酒買い小僧のいで立ちの河童この作品は講談や立川文庫でおなじみのヒーロー、真田十勇士が一人で忍術の達人・猿飛佐助が荒れ寺の妖怪を退治する筋書のようで、ほかのコマには荒れ寺の背景や、猿飛佐助のバディの三好清海入道（怪力の反面「総身に知恵が回りかね」の大男）と、手下の猿（図像右上）が描かれています。化け物側は親玉の古狐のほかに手下として三つ目入道や提灯お化け、図像にもある化け地蔵とともに河童が登場しています。小僧の姿で佐助たちの油断を誘った河童が串の回転で一変、大きな口を開けて襲いかかる展開は、きっと子どもたちのお気に入りだったでしょう。おもちゃ絵には台本がありません。ですので展開は遊ぶ子どもたちにゆだねられています。しかしそこはやはり河童のこと。「化」の字があしらわれた徳利や腹掛けもユーモラスですし、おそらく猿飛佐助の一喝で、泡を喰って退散していく役回りを振られたのではないでしょうか。全体の画像は（https://shinku.nichibun.ac.jp/esoshi/picture_info.php?id=215&from=sr&disp=JP）で確認できます。

【図像キャプション】おもちゃ絵「化物・猿飛佐助（仮題）」（部分）、絵師・出版社・出版年不明（昭和期？）、国際日本文化研究センター所蔵



よろしくお願い申し上げます

ふるさと浦安かっぱ村　平野　民夫

平野　民夫　理事

この度、理事を務めさせて頂く事になりました、平野民夫と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

平成十六年（２００４）四月に開村した、ふるさと浦安かっぱ村のチャーターメンバーの一人として河童連邦共和国の国民になり、札幌サミット、台北サミット、等の全国各地で開催された河童サミットに参加して河童の皆様との交流を楽しんでまいりました。河童のことは良くわかりませんが、河童を愛する人達の交遊をお手伝いする事なら、なにか出来るのではないかと思い、理事をお引き受けする事になりました。

諸先輩河童のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

2023.06.10.

河童連邦共和国　役員名簿

1	名誉大統領	中村　壽宏 ナカムラ　トシヒロ	京葉かっぱヴィレッジ
2	大統領	縄田　圭一 ナワタ　ケイイチ	札幌かっぱ村
3	副大統領	齋藤　昌男 サイトウ　マサオ	銀座かっぱ村
4	副大統領 新聞編集長	佐々木　篤 ササキ　アツシ	河童大学かっぱ村
5	副大統領	今井　　勝 イマイ　マサル	さいたまかっぱ村
6	事務局長	森本　佳直 モリモト　ヨシナオ	浅草かっぱ村
7	副事務局長 会計担当	大岩　千恵子 オオイワ　チエコ	水辺かっぱ村
8	理事	山本　ヤエ子 ヤマモト　ヤエコ	おいてけ堀かっぱ村
9	理事	水野　正矩 ミズノ　マサノリ	利根川かっぱ村
10	理事	北野　龍雄 キタノ　タツオ	静岡かっぱ村
11	理事	桜庭　康喜 サクラバ　ヤスキ	名寄かっぱ村
12	理事	平野　民夫 ヒラノ　タミオ	ふるさと浦安かっぱ村
13	理事	有坂　都枝子 アリサカ　トシコ	ふるさと浦安かっぱ村
14	監査	原　　えつお ハラ　　エツオ	浅草かっぱ村
15	相談役	古田　伸行 フルタ　ノブユキ	隅田川かっぱ村
16	顧問	宇田川　敬之助 ウダガワ　ケイノスケ	ふるさと浦安かっぱ村
17	顧問	板倉　義之 イタクラ　ヨシユキ	國學院大學教授

河童大学文学部特別掲載

創作河童民話

河童とあめ玉

津久原（現在の桐生市梅田町五丁目）に住む猟師の甚左エ門は、おかみさんを貰って三年も経つのに、子宝に恵まれず悩んでいたそうです。

まわりの進めもあり、近くの産土さまにお願いをしようということになり、夫婦そろっての祈願日参を始めました。

そのかいもあり、子宝を授かったのです。

喜んだ甚左エ門は、産土さまに、こんどは、安産を祈願しての日参を始めました。

そんなある日、社殿の前の陽だまりに、二人の神様が並んで座り、ヒソヒソと話をしているのを目撃してしまったのです。

「産土さんよぉ。どうしたい、元気がないねぇ」

これは、この地域全体を司る根本の神様です。

「いやぁ、根本さん。困ったことになっておるのだよ」

「困ったこととはなんじゃ」

「根本さんも知っていると思うが、まじめな猟師の甚左のことよ。熱心に子供を欲しがり祈願をするので、願いをかなえてやったのじゃがぁ……」

「おうおう、甚左のう。わしも知っておる。良い若者じゃ。願いをかなえてやったのなら、困ることもないじゃろうに」

「そうれがのう。ちょっとした手違いがあってなぁ。甚左の手助けになるようにと、たくましい男になる子供を用意していたのじゃが、まちがって違った子を授けてしまったのじゃ」

「まちがったぁ。どんな子を授けたんじゃ」

「それがのう。十三の誕生日に、川で命を奪われる運命の子だったんじゃ」

「十三までの命の子かぁ」

「あんなに願って授かった子が、十三で死んだ、そのときの甚左の悲しみを思うと、可哀そうでなぁ」

この会話を、甚左エ門は立ち聞きしてしまったのだ。

「まだ生まれていない、これから生きてゆく幼い命なのに、たった十三年の命が決まってしまっているなんて悲しすぎる。でもなぁ、神様の決めたことには逆らえない。このことは、おれだけの胸にしまって、だれにも言うまい」

心に堅く誓った甚左エ門だった。

やがて生まれた男の子は、そんな運命を背負っているなんてとても思えないほど、元気にすくすくと育って行った。

そしていよいよ、運命の日を迎えた。

「おとう。ともだちと桐生川に釣りにいってくる」

それが、命を奪われに行くのだと知っている甚左エ門だったが、

「神様には逆らえない、これが息子の運命なのだから」

と、用意していた弁当と、桐生の町までわざわざ出かけ、買い求めておいた息子の好物のアメ玉を持たせ、笑顔で送り出したのだそうだ。

友達と釣りに興じる息子を岩陰から見ている男がいた。

この男は、河童淵に住む河童が化けた男だった。この河童は死神の使い。正午までに殺せと命じられていたのだ。

いつもなら、早めに弁当を食べた後に、好物のアメ玉を食べてしまう息子だったが、この日は、面白いように魚が釣れ、弁当も、アメ玉も、食べるひまもなく、他の荷物と一緒に河原に置いたままだった。

息子を殺そうと近づいた河童も、アメ玉が大好物だった。そっと近づいたとき、まず、アメ玉に目が行ってしまった河童は、ポイッと一粒を口に入れた。

「なんと、これは旨いアメ玉だ」

息子のこの世の別れにと、甚左エ門が、菓子屋に頼み、特別に作らせたアメ玉だったから、それはそれは良い味だった。

「それ、もう一つ」

アメ玉のあまりの旨さに心を奪われた河童は、使命もわすれ、ただひたすらアメ玉を食べることに酔いしれてしまっていた。

「あ、しまった」

すべてのアメ玉を食べ終わっり、気が付いたときには、正午をはるかに過ぎてしまっていたのだ。

「あぁ、大王さまに怒鳴られるわい」

しょんぼりとうなだれた河童は、甚左エ門の息子を殺すことなく、帰って行った。

「おとう、ただいま」

まさか、帰ってくるとは思ってもいなかった甚左エ門は、息子が元気に帰宅したのを見て驚いた。

「お、おまえ。川で、なにか、おかしなことはなかったか」

「おかしなことかぁ。ああ、有ったよ。おとうに貰ったアメ玉が無くなっていたんだ。そしてね、荷物の近くに河童の足跡があったんだよ」

息子の答えを聞き、甚左エ門は事情を理解した、と、思った。

「息子を殺しに来た河童は、アメ玉と息子の命を交換してくれたんだ」

翌日から、甚左エ門は、毎日アメ玉を河童淵に持って行き、河童に供えるようになった。

本当は、河童のミスなのだが、心優しい甚左エ門は、河童が息子の命を救ってくれたと善意に解釈したのだ。

河童淵へのアメ玉の供えは、甚左エ門が、たくさんの孫に囲まれ、幸せにその一生を終えたときまで続いたそうだ。

文・佐々木　篤（河童大学）

河童百話（各地の伝承シリーズ）

全国各地に伝わる河童の伝承や昔話、民話を集めてみました。同じようなテーマの話が、それぞれの地域の個性を反映して、微妙に異なっています。河童には詳しい皆さまですので、お耳汚しかもしれませんが、若干の解説をしています。

河童大学　佐々木　篤

河童のお礼参り　その54

宮崎県西日杵郡

むかし、百姓が村の娘をお嫁にもらいました。ところがその女が嫁にきた夜から、「ひょい、ひょい」と家のまわりで河童の鳴き声がするのです。また、毎年、年の暮れになると、生きのいい川魚がかまどの上においてあるのです。

鳴き声は、「おっかさん」と聞こえることもあります。それもそのはず、嫁に来た女は、ずっと前に、片輪の子どもを生んで、その子を川に捨てたことがあるのです。

川に捨てられたこの子は、河童に育てられ、一人前の河太郎になっていました。河太郎でも、生みの親の恩は忘れません。年の暮れになると、人間のまねをして、川魚のお礼を持ってくるのです。

ある年のこと、百姓の妻が、かまどにほうちょうを忘れておいたので、刃物をおそれた河太郎は、二度と母親をたずねてこなくなりました。河童のお礼参りは、これからのつたえでありますような。

（未来社版『日本の民話』より）

解説：民話として伝える意味と内容において、疑問のある、嫌な話ですね。

河童大学　佐々木　篤

大統領府からのご案内

かっぱ寺新年会

日時　令和六年二月十日（土）十一時集合
場所　浅草かっぱ橋　曹源寺
会費　五千円

準備の都合がありますので、十二月二十五日までに、事務局宛、ハガキかＦＡＸなどで、ご連絡ください。

荏柄天神社絵筆塚供養祭

十月八日の日曜日、鎌倉荏柄天神社にて、恒例の筆供養の神事が催行され、河童連邦共和国からは、森本事務局長を始め、六名が参列しました。

新規国民

・大林　辰子（石神井かっぱ村）
・堀田　依利（板橋かっぱ村）
・高山　津子（水辺かっぱ村）
・中西　宏晃（ふるさと浦安）

かっぱ新聞第二百三十六号
発行　令和五年九月三十日
新聞発行人　森本　佳直
編集担当　佐々木　篤

河童連邦共和国のホームページは、「河童連邦共和国」で検索して下さい。